

天 気

1954年

5月号

第I巻第1号

113
25
昭和27年

創 刊 の こ と ば

ここに"天気"創刊号を世に送る。

"天気"は日本気象学会の月刊雑誌として発足する。本誌が発刊されるにいたつた動機はいくつか考えられるであろうが、一番有力なきっかけとなつたのは何といつても地方在住会員の強い要望である。本誌が直接気象現象を視測しておられる方、第一線で気象事業に従事しておられる方、そのほか農業気象や応用気象などにたずさわつておられる方の調査、研究等の小論文の発表機関になれば最大の目的は達せられたといつてよいであろう。

創刊号は短時間のきわめていそがしい間に編集されたのでとうてい満足していただけるものにはならなかつた。もつと広く読者の声の直接反映するものにしたといふ願つている。

このような小さい雑誌であまり口幅つたいことを言うのもさしさわりがありそうであるが、本誌が研究と発表の自由を確保するためいささかの役に立てばこれ以上のことは望む必要があるまい。

それでも本誌を見ていただければわかるように、気象学の簡明な解説や、論文の紹介、抄訳にもページをさき、学界ニュースやその解説もしたい。また時には気象の問題点の討論の場もちたいと願つている。写真もなるべく多くのせるつもりでいる。

特に地方でももれている原稿や写真などが無いようにしたいと願う。

要するに"天気"は読者の雑誌として発足し、これからもつばら多数の読者の声によつて編集され、発行され、販売されるようになりたいと念願するものである。

目 次

表紙	曙光のマナスル	依田孝喜
	稚内測候所	山根八郎

創刊のことば	1
論説 気象を通じて美しい世界を作ろう	福島要一 2
写真解説	3
解 説 輻射線図	沢田龍吉 4
凍霜害とその防ぎかた	日下部正雄 8
報 文 豪雨による被害について	荒井康 12
夏季出現する東風について	荒川秀俊 14
「増補華夷通商考」所載の気候	渡辺次雄 19
すきまから吹き込む雪の結晶	伊東彊自 22
書 評 気象辞典 気象の事典 雪の祭典	23
気象と生活 地球の起源	
解説 上層の風(I)(ビキニの風)	大井正一 26
定点問題の経過	金水 和夫 32